

2024年8月の行事予定表

1	木	祈祷会休み	16	金	
2	金		17	土	
3	土		18	日	大月師 壮年会、女性会休み
4	日	大月師 聖餐式、役員会	19	月	
5	月		20	火	
6	火		21	水	
7	水		22	木	祈祷会休み
8	木	祈祷会休み	23	金	
9	金		24	土	
10	土		25	日	大月師 会堂掃除
11	日	大月師	26	月	
12	(祝)	水島教会献堂式 14時～	27	火	
13	火		28	水	
14	水		29	木	祈祷会休み
15	木	祈祷会休み	30	金	
			31	土	

8月お誕生・洗礼記念日の皆様おめでとうございます。(敬称略)

編集後記

- ◇ 猛暑(酷暑)の中でも、月報などの印刷物をプリンターが静かに印刷してくれているのを見ると隔世の感を覚えます。編集子が週報などを初めて印刷した時代は、ガリ版(孔版)で一文字ずつ書き、謄写版で一枚ずつ印刷の手作業でした。汗が滴ると刷り直しました。
- ◇ 手間も時間も、昔は数倍かかっていたのと比べれば、今はあっという間に出来上がります。そればかりか、紙に印刷しなくてもデータで読んだり送受信もできる時代です。
- ◇ この時期、汗をかきつつ月報のために「証し」「近況報告」を寄稿してくださった方々に深く感謝します。とりわけ、牧師先生の「巻頭言」は毎月のことですので、感謝しつつ味わいたいと思います。
- ◇ 次月(9月号)は第400号です!

☆礼拝堂内の飲み物について：熱中症予防のため、飲み物(フタの出来るボトルなど)の持ち込みを奨励しております。年々、暑さが危険になってきていますので、各自ご注意をお願いします。(礼拝堂入口に新設された給水コーナーもご利用ください)

教会月報

2024年8月

No.399

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

弱さをおおう神様の力

「私の恵みはあなたに対して十分である。私の力は弱いところに完全にあらわれる」(Ⅱコリント12章9節)

これはずっと、今は一部スクリーンの陰になっていますが、岡山教会会堂向かって左側の大きな額に掲げられている、なじみ深いみ言葉です。教会員であった書道家、故山根和子姉が、40年ほど前に書いてくださったとお聞きしました。故利孝・信子ご夫妻をはじめとする松本家のご近所で、そのお交わりの中で生まれたものだそうです。

使徒パウロは大きな働きをした人ですが、何か大きなとげ(病気や弱さ)に悩まされ、取り除いてくださいと、何度も神様に祈りました。しかし、取り去られませんでした。その理由を神様がパウロに告げられたのが、このみ言葉です。

パウロの言葉をもう少し詳しくみてみますと、「『私の恵み私の優しさはあなたに十分足りている。なぜなら私の力は弱さ、無力さ、病の中に完全に発揮されるのだから』と、神様は言われている。だから私はもっと喜んで、私の弱さや無力さや病を誇りましょう。キリストの力がその上に宿るように」とあります。そしてパウロは、「私は弱い時にこそ強い、できる」と言ったのでした。

私たちも、自力ではどうがんばっても乗り越えられない危機や弱さの上に、神様の力を感じ、このみ言葉の真実を体験しているのではないのでしょうか。先日のHご夫妻のお証もその通りで、みんなでハラハラ、笑って喜び、神様を賛美できました。これからも弱さを否定せず、そこに注がれる神様の恵みを一緒に誇れるような、仲間でありたいと感じました。

牧師 大月 康子

証し K.E.姉

「生かされている私」

6月に骨折し、7月に農作業に復帰されたE姉の証しです。



まさに“青天のへきれき”6月5日。

自宅倉庫のコンクリート上で滑って思わず左手をついた。その日は田植え、葡萄の手入れの準備へと焦っていた。その左手はみるまに腫れた。早速近くの整形外科へ急いだ。その先生曰く、立派なとうこつ骨折だから手術のほうが早く治る。と言われ、近くの病院で入院手術することになった。しかしながら私の心はますます焦るばかりだった。今思えば高揚した焦燥感で骨折の痛みはなんともなかった。入院当日はシャインマスクットの2回目のジベレリン処理をしてから、臨んだ。そしてやっと神さまに総てを委ねて祈ることが出来た。

過去 7、8 年前台風で稲が倒れてぺっちゃんこの中でさえ健康を支えられ、品質も良く増収につながったことを思った。悲しい時楽しいときでさえ神さまはそばにいて下さる。すると自然と気持ちが和らいで平静な気持ちになった。部分麻酔なので手術動画、縫合等興味深く観察出来た。医師の器用さには頭が下がった。

その後守られて術後の痛みは格別だったが1日1日と快方に向かった。教会の皆さまの快癒祈禱のおかげだと思う。ありがとうございました。7時16日に車の運転農作業の許可が下りて感謝している。詩篇を読む機会が与えられダビデが神に素直に訴える真摯な姿勢に元気をもらっている。

気になっていた田植えも娘らの応援隊で完了。気づかなかった大きなスズメバチの巣も撃退してくれて安堵の日を迎えている。

Iテサロニケ 15:16 「いつも喜んでいなさい。たえず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそキリスト、イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。」この聖句によって元気づけられ日々生かされている神に感謝している。



近況報告 K.O.姉

みなさま、いかがお過ごしでしょうか？ 2017年4月～2021年3月まで岡山教会でお世話になりましたOです。

大学卒業後は東京に移り住み、渋谷区の教会に通っています。子ども向けの集会や、礼拝の賛美奉仕、そのほか子ども食堂のはたらきにも加わり、多くの交わりの中で養われています。また、教会が所属する教団の賛美チームでもご奉仕する機会をいただいています。中高生のような若いたましいを前に、わたしに証でき

ることはあるのだろうか…そんな不安に追われながらも祈りつつ、まずわたし自身が礼拝者として整えられるように求める必要性を強く感じています。

教会以外では、River Worship School という賛美奉仕・礼拝



について学ぶ学校に入学し、現在2年目の学びに入りました。授業で学んだことを教会の礼拝で実践することができるのは、本当に感謝なことです。霊的に示されることはもちろん、人間的な弱さも多く示され、「期日までに課題を出すことができない」「仕事が忙しくてなかなか授業の受講が進まない」という現状と葛藤しています。それでも奉仕に招いてくださっている神さまの声に 응답していきたい想いです。8月には教団の中高生キャンプ、9月には中高生・大学青年向けの集会があり、両方で賛美の奉仕をさせていただく予定です。何よりもまずわたし自身がみことばを味わい、主に目をあげていけるように、お祈りいただけましたら幸いです。(大学卒業後3年ぶりのお便りを頂きました)

証し H.K.姉

「祈禱会の恵み」



聖書の学びと祈り会です。

祈禱会参加は、洗礼を受けて2年後、主人に勧められて始めました。日曜日と木曜日、週2回、神様のメッセージをいただけることは感謝でした。特に、証しが楽しみでした。

私は、聖書を毎日読む事は難しい生活でした。聖書の中の言葉や人物、地名。どれもほとんど初めて聞くものがあり理解できませんでした。

今年、大月先生が来られ、大月先生流で祈禱会が始まりました。時間が足りないと思う位、充実しています。前のように分からないまま終わることがなくなりました。

「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」

聖書を黙読黙想して、自分の思うこと、気持ちを発表します。理解しないでいたら、いつまでも聖書とは何だろう、何を神様は伝えたいのだろう？と過ごしていたと思います。

詩編とは？から始めて、今、6編まで進んでいます。7編が楽しみです。今まで、次の祈禱会の聖書箇所が楽しみで予習をすることなどなかったのです。びっくりです。

他の方々理解出来ていることも私には理解できない。毎回、大月先生にたずねています。大月先生はやさしくおしえてくださいます。祈禱会は大きく変わりました。これから多くの方と共に、聖書を生活の中にとりいれて行きたいです。

皆さま、どうぞ、新しい祈禱会で恵みを感じてみませんか？ 祈りつつ、お待ちしております。主にありて アーメン。



教会玄関ロビーに給水コーナーを設置



豆知識

新紙幣の人物とキリスト教

20年ぶりとなる新紙幣の発行が7月3日に始まった。新紙幣の肖像画は、1万円札が実業家の渋沢栄一、5千円札が津田塾大学創設者の津田梅子、千円札が細菌学者の北里柴三郎。この内、津田は洗礼を受けたクリスチャンで、渋沢はクリスチャンではないものの、多くのキリスト教団体を支援した。

渋沢栄一

渋沢は1931年に91歳で生涯を閉じるまでに、500余りの企業の設立や経営に携わった。一方、約600の教育機関・社会公共事業に関わり民間外交にも尽力した。その中には、キリスト教関係のものも非常に多い。

1907年に救世軍のウィリアム・ブース大将が来日した際には歓迎会の発起人となり、1920年に東京で世界日曜学校大会が開催された際には、大会後援会副会長として支援した。また、東京基督教青年会館(東京YMCA 会館)が関東大震災で被災した際には、復興建築資金募集後援会の相談役にもなっている。

津田梅子

明治4年、6歳の時、最年少者として岩倉使節団に随行して渡米。米国人夫妻に預けられ8歳で自ら洗礼を希望した。11年にわたり米国で教育を受け帰国したが、日本における女性の地位の低さに驚き、その地位向上の必要を痛感する。1900年に、津田塾大学の前身となる女子英学塾を創設。華族・平民の区別のない女子教育を始めた。1929年に64歳で天に召された。

